■正宗白鳥　　小説家，評論家。異色の自然主義作家として地歩を固めて，評論に展開するも，″永遠の懐疑者・傍観者″。
まさむねはくちょう
琉球処分・・1879＝　　岡山県和気郡穂浪村(備前市)で，素封家の長男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 2歳：
のちに，次弟敦夫は国文学者・三弟得三郎は洋画家・六弟厳敬は植物学者・次妹乙未は地理学者辻村太郎夫人として，それぞれ有名になるような家族環境のなか，

祖母の影響で地獄に強い恐怖感を抱くようになり，草双紙・読本にも惹かれる。

初の対等条約1888＝ **9歳：**
帝国憲法発布1889＝10歳：

大本教・・・1892＝13歳：**_小学校卒業後，旧岡山藩{閑谷学校}に入って，漢籍を学び，**
_傍ら，{民友社}の出版物に親しんで，キリスト教に関心をもつようになる。
日清戦争始・1894＝15歳：**_胃弱のため通院の傍ら，アメリカ人経営の学校で英語と聖書の講義を受け，**
_内村鑑三に傾倒するようになった。
白馬会・・・1896＝17歳：**_上京し，東京専門学校(早稲田大学)英語専修科に入学，田中王堂に学んで影響を受ける。**
八幡製鉄始・1897**＝18歳：_植村正久の手で受洗。**
子規句歌革新1898＝19歳：**_同校史学科に進むが，**
Bushidou・・1899＝20歳：**_廃止となったため，文学科に編入，**

田中正造直訴1901＝22歳：**_卒業して，同校出版部に入るとともに，島村抱月の指導で{読売新聞}の″月曜文学″欄に批評を書き，田山花袋と論争して，知り合う一方，キリスト教に疑問を抱いて離れた。**
日比谷公園・1903＝24歳：**_{読売新聞}に入社，井上哲次郎批判はじめ美術欄で気鋭の筆を振ううち，国木田独歩の小説に影響され，**
日露戦争始・1904＝25歳：**_処女作「寂寞」を{新小説}に発表，**
日露戦争終・1905＝26歳：
満鉄発足・・1906**＝27歳：_{趣味}に書いた「塵埃」を含む，**
韓国反日暴動1907＝28歳：**＊短編集「紅塵」を出版し，異色の自然主義小説家として認められた。**
ｱﾗﾗｷﾞ創刊・ 1908＝29歳：**_{早稲田文学}に連載した「何処へ」が代表作とみなされるものの，紙面が自然主義運動の拠点となることが経営陣に嫌われ，**
韓国併合・・1910＝31歳：**_退社し，作家として自立する。「徒労」「微光」，**
大逆事件判決1911＝32歳：結婚。「泥人形」，
明治天皇没・1912＝33歳：

21ヶ条要求・1915**＝36歳：**「入江のほとり」，
民本主義・・1916＝37歳：「牛部屋の臭ひ」などの作品を残した。

_生の倦怠や文筆生活への嫌悪から，
ﾍﾞﾙｻｲﾕ条約・1919＝40歳：**_文壇を退いて，郷里へ帰ったが，**
大暴落・・・1920＝41歳：**_軽井沢に移ると執筆活動を再開，「毒婦のやうな女」で独自の世界を拓き，，**
原敬首相暗殺1921＝42歳：**_「人さまざま」，「生まざりしならば」などの佳編を生んだ。**

護憲三派圧勝1924**＝45歳：_戯曲に傾倒するようになり，**
治安維持法・1925＝46歳：戯曲集「人生の幸福」，
円本時代始・1926＝47歳：**＊「安土の春」「光秀と紹巴」などで話題を呼んだが，{中央公論}で文芸批評を担当したことから，評論家として活動するようになり，″私批評″という新領域を開き，円本全集各巻に読後感を執筆。**
共産党事件・1928＝49歳：**_その印税で夫婦で世界漫遊の旅に出，米欧を廻って，**
世界恐慌・・1929＝50歳：**_帰国。**

満州事変・・1931＝52歳：
五一五事件・1932＝53歳：「文壇人物評論」，
国際連盟脱退1933**＝54歳：**

日中戦争始・1937＝58歳：

大政翼賛会・1940＝61歳：弟の子を養継嗣子とする。帝国芸術院会員。
日米開戦・・1941＝62歳：
・・・・・・1942**＝63歳：_円本読後感が「作家論」として集大成される。**
創価学会検挙1943＝64歳：**_日本ペンクラブ会長。**

敗戦・・・・1945＝66歳：**_<敗戦>後，執筆を再開し，**
新憲法公布・1946＝67歳：**＊「戦災者の悲しみ」ほか多くの作品を発表，永井荷風とともに″大家の復活″といわれた。**

極東裁判決・1948＝69歳：「自然主義盛衰史」や，
三大事件・・1949＝70歳：「日本脱出」，
朝鮮戦争始・1950＝71歳：「内村鑑三」などにすぐれた批評眼を見せている。**_文化勲章受章。**
独立回復・・1951**＝72歳：**「流浪の人」。**_文化功労者。**

なべ底不況・1957＝78歳：**_菊池寛賞。**

美智子妃・・1959＝80歳：**_死に近く，「今年の秋」で，**
安保闘争・・1960**＝81歳：_読売文学賞を受賞し，**
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961＝82歳：**_「リー兄さん」などの佳編を書きつづけたが，**
全国総合計画1962＝83歳：**＊没した。臨終の床でのキリスト教信仰への悩みを告白，この作家の生涯に新たな視点をもたらした。**

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，